

「暮らしノートVOL.12」くすくす⑤⑦⑤

読者からの応募作品

素敵な作品がたくさん寄せられましたので紹介させていただきます。

● 二人とも ボケてしまえば それが普通

ピンボケ太郎(50代 男性・長野市)

● チビ猫が おばあさんより 年上に

匿名(60代 男性・長和町)

● かるくなる スマホの重さごと 俺の金

匿名(60代 男性・千曲市)

● 深酒で 上弦の鬼 庵の妻

匿名(60代 男性・千曲市)

上弦ジヨウゲン)は鬼滅の刃の鬼です。(最強ということ)

● 年なのか 疲れぬけない このごろだ！

匿名(60代 女性・長野市)

● 携帯は 置きっ放しで 家電か

おか(60代 男性・安曇野市)

● 花見より 興味はすでに 屋台めし

匿名(40代 男性・上田市)

● 孫を抱き 義母の手を借り やっと立つ

匿名(60代 女性・上田市)

自分も60代半ば、孫を抱き立つのは苦勞。そこへ腰の曲がった91歳の義母が助け船。支えられて情けない。

● 鳥のエサ ジヤムができるか ブルーベリー

たか(60代 女性・長野市)

● 見えるよと 目ほそめて見る 新聞紙

匿名(70代 女性・坂城町)

● 味噌づくり 鼻歌まじりに 豆パンチ

ハーちゃんママ(40代 女性・松本市)

子どもとの味噌作り、楽しそうに大豆をつぶす子どもとほっこりした時間でした。

● あれあれと くりかえしても でてこない

かけみ(60代 女性・伊那市)

● 制服を 収納(たた)む右手に 涙落つ

トモちゃん(70代 男性・長野市)

● 「古稀」の字も 意味も知らずに 七十才

幼稚な70才(70代 女性・長野市)

人生七十古稀なり 70才の長寿を古稀ということを最近知りました。

● 何もなし 場所ですまずき 足くじく

ひろこ(70代 女性・須坂市)

● 時代劇 同じはなしを また見てる

ひろこ(70代 女性・須坂市)

● 毎日の ハリとなってる 韓流ドラマ

ひろこ(70代 女性・須坂市)

● 間違えて 知らない人に 声かける

ひろこ(70代 女性・須坂市)

● 関節痛 湿布貼りすぎ 皮膚炎に

匿名(50代 女性・佐久市)

● あと2kg ビール横目に スクワット

匿名(60代 女性・飯田市)

夏迄になんとか…!!

● 飛行機雲 真一文字に 天高く

シャーロット(60代 女性・長野市)

五月晴れの青空に一筋の白い雲は気持ちがあすつきりします。

● 子やぎかな へそ天昼寝 白チワワ

シロタンMaMa(60代 女性・長野市)

● 退職後 晴耕雨読 楽しけり

トクヅー(60代 男性・長野市)

● 犯人は サندان取ったね ハクビシン

赤いバラ(60代 女性・長野市)

● 電動が 欲しいともが 笑ってる

へなちよこ(50代 男性・長野市)

● 物価高 おやつ減らせと 無理難題だ

匿名(60代 女性・長野市)

● 五月晴れ ペダルこいで 風感じ

名無しのごん太(50代 男性・長野市)

自転車通勤しています。

● 早朝に 犬に起こされ 草むしり

もかママ(20代 男性・佐久市)

● 去年の巣 ちやつかり戻って ひな孵す

小豆ちゃん(40代 女性・松本市)

この辺りは砂地。土の泥ではないので中々ツバメの巣が一夏もたずに落ちてしまいが、家の軒の去年の巣は上手にできたらしく落ちずに一冬越しました。毎年来るツバメがちやつかり戻ってきて入って卵をあたためています。新たに巣を作らなくて済みました。

● 帰省客 メイストームのはしりなり

SWAN(30代 男性・安曇野市)

● (夕飯かけて)海釣りへ 家族揃って 買い出し楽し

まゆごん(50代 女性・長野市)

● 朝寒い 昼あたたかい 夜寒い

晴海リフレクション(40代 女性・箕輪町)

● 風吹かず ただだらしない こいのぼり

たけぼう(40代 男性・上田市)

● カキ小屋で 孫が食べるは ウインナー

匿名(60代 男性・東御市)

● 蛇さんと 我が家の猫が 遊んでる

匿名(60代 男性・東御市)

● 我が子だけ? 休みになると 風邪をひく

さや(30代 女性・上田市)

大型連休色々計画を立てていても全部つぶれてしまいました。

● 美味しいと 作った自分 ほめまくる

LUCKY7(60代 女性・辰野町)

● 虫?!取って〜 叫んだところで だれも来ない。

覚悟を決める一人暮らし(20代 女性・飯田市)

● マスクなし 思っていたのと ちがう顔…

ぶーぶーはは(50代 女性・塩尻市)

● 春日差し 母と歩いて 里帰り

キチ(70代 男性・上田市)

● 山菜は 庭を一周 摘み放題

水色線(40代 男性・塩尻市)

● ハンドルを 右に左に ひとり旅

路星(60代 女性・岡谷市)

● ジジ転び ケガナカタと 孫が言い

あんころもち(40代 女性・松本市)

3年ぶりの帰省。久々会った転んだジジを心配してケガなかった?と聞いたのかと思いきや頭頂部の毛がなかったことに驚いたようです。

● 夢の中 瞼を閉じれば 一瞬で

鈴の音(40代 女性・松本市)

● つかれても がんばらないと 金にならない

天山(40代 男性・伊那市)

● 子の友の 口元変わる 3年よ

タカ(40代 男性・茅野市)

● ひこうき音 見上げる空に 飛蚊症

ひろし(60代 男性・岡谷市)

ウォーキング途中、飛行機音が見上げると真っ青な空に小さな黒い物が2〜3個飛んで見えて思わず笑ってしまいました。

● 水田で うたう人数 ふえていく

詠み人かえる(40代 女性・千曲市)

● 子は巢立ち ワンコの世話が 楽しみに!!

てっちゃん(50代 女性・長野市)

● 改札で 振る手にみやげ 血の気ひく

こころん(60代 女性・松本市)

息子の土産を持っていて渡し忘れ冷や汗でした。

● だてメガネ 以前はそれで すんだのに

さくら(40代 女性・長野市)

今ではどっぶり老眼鏡にお世話になっております。必需品!

● 雑草の 力強さに こんちくしよ

とん辛子(60代 男性・飯島町)

● 風の朝 支柱にすがる きゅうり苗

あつこ(60代 女性・佐久市)

● お手伝い 娘の笑顔と 倍の手間

みうのママ(40代 女性・大田市)

嬉しいけれど料理もお菓子作りも時間がかかります。

● 疲れどぎ 甘さでいやす よろこびよ

パセリ(70代 男性・駒ヶ根市)

疲れた時の一時に食べたい記事で「やっぱりあんこも好き」いいです。

● キンチョールと ヘアスプレー間違う 77(古稀)の夫

匿名(70代 女性・筑北村)

● マスクとり「初めまして」と 思い込む

匿名(40代 男性・松本市)

● 鏡見て まだまだ若い 胸を張る

ゆっくりさん(50代 男性・茅野市)

● 老夫婦 会話はまるで 漫才師

青りんご(50代 女性・飯綱町)

● 病院の待合室での会話はボケとつっこみでした(笑)

● 三年ぶり 素顔のシワを 認め合い

匿名(70代 女性・上田市)

● 父の日は 子等の好物 のつとられ

匿名(70代 女性・上田市)

● おにぎりに 想いを込めて 掌(たなごころ)

1625(50代 男性・大町市)

とっちゃんのにぎるおにぎりは不格好だけど、想いは込めているんだよ。伝わっているかなあ。

● 何食べてる？ 忘れました！と 母モグモグ

ほぼ(60代 女性・富士見町)

● 断捨離は とにかく出して 手に負えず

とっちらかりっ子(60代 女性・松本市)

● 雲を見て おいしそうだ と 笑う子ら

匿名(50代 女性・長野市)

● ぬか床を まぜるわが手に 母をみる

ぶんちゃん(50代 女性・松本市)